

葬儀・仏事・神事に関して、日ごろ疑問に思われている事項などを定期的に「がわら版」としてお伝え致します。また、他に疑問に思われている事がありましたら、お気軽にお問い合わせください。

### 今回のテーマ 『仏教用語』

#### 【彼岸(ひがん)】

春分の日、秋分の日を「中日」とし、その前後三日を合わせた七日間を、彼岸といい、寺院においては「彼岸会」がおこなわれ、(日本独自の行事)善男善女は、墓参りをする習慣があります。

彼岸の語は**到彼岸**の略で、迷いこ此岸(しがん=この世)を去って、悟りの彼岸(あの世=浄土)に到るの意で、 Sanskrit 語の "パーラミター" を音訳したのが波羅密多(はらみった)です。

上記の般若心教の正しい教典名が「摩訶般若波羅密多心教」なのです。それでは、なぜ彼岸会がこの「中日」に行われるのでしょうか？

この日には、太陽は真西に沈み、その方角には極楽浄土があるので真西に沈む太陽を眺めつつ、ご先祖様を追憶しようというところから春と秋の彼岸の行事が行われるようになりました。

#### 【十三仏(じゅうさんぶつ)】

十三仏の存在は、よく知られていますが、それぞれの特徴や役割は以外と知られていません。十三仏が祀られるようになったのは室町時代のことです。

初七日から**三十三回忌**までの**13回の重要な法要**の御本尊として「故人を守護してくださる」といわれ人々に信仰されました。また祖先の供養ばかりでなく、子孫繁栄などその功德は計り知れないとされ関係した人々はすべて成仏すると記されています。宗派を問わずあらゆる仏事に使われますが、浄土真宗は受け入れていません。

不動明王	初七日	大日如来に仕え火焰で汚れを清め人々を守る。	観音菩薩	百箇日	阿彌陀如来の脇侍。33身に変化し願いをかなえます。
釈迦如来	二七日	諸仏の源。苦悩する人々を悟りの境地へ導きます。	勢至菩薩	一周忌	阿彌陀如来の脇侍。知慧の光で現世を照らします。
文殊菩薩	三七日	釈迦如来の脇侍で、知慧を司る菩薩です。	阿彌陀如来	三回忌	西方極楽浄土に住み、無量の光で至福へと導きます。
普賢菩薩	四七日	釈迦如来の脇侍で、行・徳を司る菩薩。長寿に御利益。	阿闍如来	七回忌	不動の菩薩心を司り、無病息災を授けます。
地藏菩薩	五七日	賽の河原で子供を救ってくれます。僧のような頭。	大日如来	十三回忌	密教の最高仏。如来でありながら天衣をつけた菩薩姿。
弥勒菩薩	六七日	釈迦の入滅から56億7千万年後に現れる未来仏。	虚空蔵菩薩	三十三回忌	無尽の蔵。知慧と慈悲の功德が尽きない御仏です。
薬師如来	七七日	人々を病苦、災いから救い、健康を守ってくれます。			

※仏事は地域風習により様々な形があります。上記は一般的な例を列記しました。

シルクロードは、葬儀も福祉の一環であると考えております。「しんらいの会」は皆様のご家族の代わりとなり、身元保証・生活支援を行い、これからの福祉のありかたを考えている社団法人です。シルクロードは「しんらいの会」を応援しております。

頼れる親族や身寄りのいない方、そんなあなたの身元保証人となって支援いたします。

高齢者・障害者の  
身元保証と生活支援

一般社団法人 **しんらいの会**

TEL **029-875-4443**

詳しい内容は  
こちらからどうぞ

しんらいの会

検索

お気軽にお電話ください。(月～金 9:00～17:00) 〒300-0812 茨城県土浦市下高津1-19-39(法務局すぐそば)